学校番号	３２０

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「MOUSA Ⅰ」（出版社名　教育芸術社）						
副教材等	NEW MUSIC NOTE（出版社名　教育芸術社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・演奏の授業では、歌唱（独唱、重唱、合唱など）、器楽（マンドリン、琴）の分野で、バラエティーに富んだ音楽体験ができるようになっています。さまざまなジャンルにチャレンジして、音楽を一生楽しめるような技能を身に付けましょう。
・創作の授業では、自分でつくった作品を発表したり、作品について互いに意見を交換したりする機会を設けています。音楽を通してプレゼンテーションの力を身につけましょう。
・鑑賞の授業では、聴くだけでなく、音楽の構造や文化的・歴史的背景などについても学びます。音楽的な見方・考え方を身に付けましょう。
・音楽が生涯にわたって、心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のように育成する。
１　曲想と音楽の構造や文化的歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
２　自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
３　主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を活かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。(技能)	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の３段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の３段階）及び評定（１～５の５段階）にまとめます。

４　学習の活動

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

前期	・歌詞の理解を深め、メロディーをイメージしながら歌おう。 ・旋律の美しさや言葉のリズムを取り表現しよう。	・曲にふさわしい発声などの技能を身に付ける ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりの理解を深める ・表現を工夫する ・表情豊かに歌う	a：曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 （知識） a：発声方法、基本的な体の使い方を意識し、演奏する技能を身に付けている。 （技能） b:旋律や歌詞、演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 c:歌詞、旋律、曲想、作曲された時代背景について理解したり、基本的な体の使い方を意識し、創意工夫して、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト・パフォーマンス課題	・ワークシート・パフォーマンス課題	・授業観察・ワークシート
	マンドリンを弾いてみよう	・様々なマンドリンとその音色について ・構え方 ・ダウン、アップ奏法による解放弦、音階 ・奏法について ・課題曲の演奏	a:曲想と楽器の音色、奏法との関わりについて理解している。（知識） a:マンドリンの奏法、基本的な身体の使い方を意識して演奏する技能を身に付けている。（技能） b:旋律やテクスチュア、マンドリンの演奏や、知識・技能を得たり、意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、マンドリンの奏法、基本的な身体の使い方を意識し、創意工夫して主体的・協働的に器楽で表現する学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト・パフォーマンス課題	・ワークシート・パフォーマンス課題	・授業観察・ワークシート
	音を聴き取る耳を鍛えよう	・ピアノの音色について ・ハ長調による単音 二和音（協調和音） 旋律の聴音	a:音の持つ要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら音楽に対する理解をしている。（知識） a: 音の持つ要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受したことを楽譜上にて表現する技能を身につけている。（技能） c:ピアノによる単音、和音、旋律の音の特質に関心をもって、聴音をする学習に主体的に取り組もうとする。	・ペーパーテスト		・授業観察

	重唱にてハーモニーを味わおう	・ 曲想と音楽の構造、歌詞との関わりの理解を深める ・ 表現を工夫する ・ 表情豊かに歌う ・ 課題曲の演奏	a：曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。（知識） a：発声方法、基本的な体の使い方を意識し、演奏する技能を身に付けている。 （技能） b:旋律や歌詞、演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 c:歌詞、旋律、曲想、作曲された時代背景について理解したり、基本的な体の使い方を意識し、創意工夫して、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト・パフォーマンス課題	・ワークシート・パフォーマンス課題	・授業観察・ワークシート
	音楽理論を理解しよう	・ 音の名称について ・ 音程、調性(長調)について	a: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽に対する理解をしている。 （知識） c:音の名称、音程、調性という音楽には無くてはならない音楽の基礎的知識を深め、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。	・ペーパーテスト		・授業観察・ワークシート

後期	創作表現の探求をしよう	・ 曲の旋律に音を加えたり、リズムや拍子を変えたりした例を参考にして、変奏する。 ・ 曲の旋律にハーモニーとベースのパートを加えて重奏に編曲する。 ・ 作品の発表	a: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽に対する理解をしている。（知識） b：旋律や歌詞、演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 c：曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、創意工夫して主体的・協働的に器楽で表現する学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート・パフォーマンス課題	・ワークシート・パフォーマンス課題	・授業観察・ワークシート

	琴の二重奏で演奏しよう	・ 様々な琴とその音色について ・ 構え方と解放弦、音　階 ・ 奏法について ・ 課題曲の演奏	a:曲想と楽器の音色、奏法との関わりについて理解している。（知識） a:琴の奏法、基本的な身体の使い方を意識して演奏する技能を身に付けている。（技能） b:旋律やテクスチュア、マンドリンの演奏や、知識・技能を得たり、意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、琴の奏法、基本的な身体の使い方を意識し、創意工夫して主体的・協働的に器楽で表現する学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト・パフォーマンス課題	・ワークシート・パフォーマンス課題	・授業観察・ワークシート
	合唱にてハーモニーを味わおう	・ 曲想と音楽の構造、歌詞との関わりの理解を深める ・ 表現を工夫する ・ 表情豊かに歌う ・ 課題曲の演奏	a：曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。（知識） a：発声方法、基本的な体の使い方を意識し、演奏する技能を身に付けている。 （技能） b:旋律や歌詞、演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 c:歌詞、旋律、曲想、作曲された時代背景について理解したり、基本的な体の使い方を意識し、創意工夫して、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト・パフォーマンス課題	・ワークシート・パフォーマンス課題	・授業観察・ワークシート
	オペラの鑑賞をしよう	・ オペラの歴史、G.ビゼーについて学び、楽曲を鑑賞する。	a: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽の持つ意味や価値を解釈したりして、オペラの良さや美しさを創造的に味わい、理解をしている。 （知識） c: 総合芸術オペラの特徴に、関心を持ち、物語、曲想、楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト		・授業観察・ワークシート

	マンドリン奏法のステップをしよう	・　トレモロ奏法について ・　課題曲の演奏	a:曲想と楽器の音色、奏法との関わりについて理解している。（知識） a:マンドリンの奏法、基本的な身体の使い方を意識して演奏する技能を身に付けている。（技能） b:旋律やテクスチュア、マンドリンの演奏や、知識・技能を得たり、意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、マンドリンの奏法、基本的な身体の使い方を意識し、創意工夫して主体的・協働的に器楽で表現する学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト・パフォーマンス課題	・ワークシート・パフォーマンス課題	・授業観察・ワークシート

〈指導と評価の年間計画（シラバス）作成上の留意点〉

1　学習の到達目標を踏まえて設定した各科目の評価の観点の趣旨を記載

2　学習の到達目標及び評価の観点の趣旨を踏まえ単元（題材）の評価規準を観点ごとに記載

3　単元（題材）の評価規準を踏まえて、各観点における記録に残す評価の方法を記載